

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：パラフィン系テープの利用によるイチジク挿し木の活着率の向上			
〔要約〕イチジクの挿し穂の地上部をパラフィン系テープで巻くと、萌芽が早まり活着率が向上する。また、活着率及び苗木の生育が劣るとされていた休眠枝先端の細い部位も、本テープを用いれば利用できる。			
キーワード イチジク、挿し木、挿し穂、活着率、パラフィン系テープ			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・生産技術部・果樹研究室 協力機関		
実施期間	2009年度～2011年度		

〔目的及び背景〕

近年、イチジクは機能性食品として注目され、観光・直売を中心に生産が増加する傾向にある。イチジクは挿し木で増殖できるので、苗木を自家育成すればコスト削減が図れる。しかし、露地圃場でさし木を行うと挿し穂が乾燥して活着が不良となる場合が多い。そこで、乾燥防止対策としてパラフィン系テープ（以下、テープ）を用いて、活着率の向上を図る。

〔成果内容〕

- 1 挿し穂の地上部を芽を除いてテープで巻くと（写真1）、萌芽は慣行のろうを塗布した場合に比べて早まり、活着率も向上する（表1）。また、挿し木を5月上旬までに行えば90%以上の挿し穂が活着する。
- 2 活着率が低く苗木の生育が不良な休眠枝先端部の挿し穂でも、地上部をテープで巻くと活着率と苗木の生育が向上する（表2）。

〔留意事項〕

- 1 挿し穂は20cm程度の長さとし、下部を節の直下で水平に切断する。
- 2 挿し床は黒ポリマルチで被覆することにより、無マルチ及びわらマルチより苗木の生育が良好となる。
- 3 晩霜害が発生しやすい地域では5月上旬に挿し木を行う。

〔普及対象地域〕

県内全域

〔行政上の措置〕

[普及状況]

[成果の概要]



写真1 テープを巻いた挿し穂

表1 挿し穂の乾燥防止方法と挿し木後の萌芽、活着、苗木の生育量 (平成21年)

挿し木日 (月/日)	乾燥防止 方法	萌芽所要 日数(日)	活着率 (%)	苗木の生育量	
				長さ(cm)	直径(mm)
3/27	テープ	23	100	183	24.9
	ろう	37	90	169	23.9
4/17	テープ	16	97	186	25.7
	ろう	23	83	183	25.0
5/7	テープ	12	90	167	23.1
	ろう	20	80	149	19.7
平均	テープ	17	96	179	24.6
	ろう	27	84	167	22.9
有意性		**	*	ns	ns

注1) 品種は「榊井ドーフィン」を供試した

2) ろうは挿し穂の上部切断面に融解したろうを塗布した

3) 萌芽所要日数は挿し木から萌芽までの日数とした

4) 各データは1区10本で3反復した場合の平均値とした

5) 有意性の*, **はそれぞれ5%, 1%水準で有意差があることを示す

表2 挿し穂の採取部位及び乾燥防止方法の違いと挿し穂の活着及び苗木生育量 (平成23年)

挿し穂の 採取部位	乾燥防止 方法	挿し穂の直径、重さ		萌芽日 (日)	活着率 (%)	苗木の生育量	
		直径(mm)	重さ(g)			長さ(cm)	直径(mm)
先端部	ろう	15.0 a	36.3 a	5/26 b	75	114 a	15.2 a
中間部	ろう	18.2 b	50.2 b	5/23 b	88	136 b	18.8 b
基部	ろう	20.6 c	66.8 c	5/24 b	98	145 b	20.9 c
先端部	テープ	14.9 a	36.5 a	5/18 a	97	143 b	20.2 bc

注1) 品種は「榊井ドーフィン」を供試した

2) 採取部位は前年休眠枝を三等分して先端部、中間部、基部とし、挿し穂は長さ約20cmとした

3) 挿し木は4月17日に、各採取部位及び処理について100本を無作為に配置して行った

4) 異なる英文字のついた数値には5%水準で有意差があることを示す (Tukey-Kramer法)

[発表及び関連文献]

- 1 平成20年度試験研究成果発表会 (果樹部門)
- 2 平成26年度試験研究成果発表会 (果樹部門)
- 3 平井ら、イチジク挿し穂の活着と生育に及ぼす挿し木床及び挿し穂の温度と水分の影響、千葉農林総合研究センター研究報告5、2013年
- 4 平井ら、イチジク挿し穂の一年生休眠枝における採取部位及び形質が挿し木の活着と生育に及ぼす影響、千葉県農林総合研究センター研究報告7、2015年 (投稿中)
- 5 平成19年度試験研究成果普及情報「イチジクの効率的な苗木育成法(1)穂木の取扱いとマルチ資材の種類」
- 6 平成20年度試験研究成果普及情報「イチジクの効率的な苗木育成法(2)さし木に適した穂木の条件」

[その他]